第４学年　国語科学習指導案

４年２組　　３４名
指導者　岡　田　八　重

１　単元名　　伝えよう「一つの花」のメッセージ

２　単元設定の理由

４年生になると，ものの見方や考え方が広がり，自分なりの考えをもつようになる。しかし，毎日の生活においては，まだまだ小さな事柄に引っかかりをもち，自己中心的なことばが聞かれることも多い。そこで，日々の出来事をもっと大きな心でとらえることができるよう，「読むこと」の学習では，心を柔らかく温かく揺り動かすことを大切にした活動を進めてきた。詩の音読や暗唱の学習では，言語感覚を磨いたり想像力を養ったりすることをねらいとし，文学的文章の学習では，ファンタジーの世界を楽しみながら，登場人物の心情をゆっくりと追体験していくうちに柔らかい心でいる自分を見つけていくことができた。これらの活動をとおして，学習者は，読書の幅が広がり読書の楽しさを見つけつつある。

本単元では，今西祐行の『一つの花』を読む。戦争への憎しみや平和への願いとともに家族の愛情と人間の真実の強さが，この作品の主題であると考える。今まで学習者が見てきた世界とは別の戦時中の世界が展開されており，この学習をとおして，学習者が考え方を広げ，生き方をさぐっていくきっかけとしたい。また，読み取ったメッセージを伝える場として，全校の学習者が交流できる場の一つである児童集会を活用することにした。「自分でここまで読めた。」「この作品から，こんなことを考えた。」という思いをもつことは，自分に対する自信となり，次の学ぶ意欲となる。読むことで，表現の仕方を工夫したり新しい考えに気付いたりする。そして，それを他に伝えたり話し合ったりすることで，作品を読む視点の多様さと，それによる一人一人の感じ方について違いのあることに気付かせたい。身に付けた能力がさらに次の読みに役立つように，単元をとおして促していきたい。

本時は，これまでの学習で読み取った筆者のメッセージを各グループで深めていく。グループの中で，自分の考えや思いを確かめることをとおして自己評価する。そして，自分の考えや思いをさらに深め，メッセージに託して友達に発信しようとする気持ちを高めていきたいと考えている。

３　単元の目標

（１）学習者の活動目標

○　「一つの花」のメッセージを伝えよう。

（２）指導目標

○　場面や登場人物の様子を想像しながら読んだり，読み取ったことを工夫して表現したりすることができるようにする。

○　相手を意識して自分の思いや考えを発表したり，相手の発表の大意をつかんで聞いたりすることができるようにする。

○　物語の主題について自分の考えをまとめ，必要なことを選択して書くことができるようにする。

○　題名にこめられた作者の思いについて自分の考えをもち，友達の考えと比べながら読み深めることができるようにする。

4　本単元における評価について

能力	評価規準	子どもがことばの力を身に付けた姿の一例	評価の資料
関心・意欲・態度	場面や登場人物の様子を想像しながら読んだり，読み取ったことを工夫して表現したりしようとしている。	・「十分に満足できる」状況 場面や登場人物の様子を，作品の中の大事なことばに気を付けて読み取り，作品の世界に意欲的に迫ろうとしている。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 ゲストティーチャーの話や手引きを手がかりにして，作品の世界に興味・関心が高まるようにする。	・発言 ・音読 ・読書の様子 ・学習の記録
話す・聞く能力	読み取った内容について，相手を意識した話し方や聞き方をしている。	・「十分に満足できる」状況 読み取った内容について，相手を意識して工夫して話したり，相手の話の大意をつかんで聞いたりしている。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 手引きや教師の助言を手がかりにして観点を明らかにし，相手を意識した話し方や聞き方ができるようにする。	・発言 ・話し合いの様子 ・学習の記録
書く能力	物語の主題について自分の考えをまとめ，必要なことを選択して書いている。	・「十分に満足できる」状況 表現方法を工夫して必要なことを選択して書き，物語の主題について自分の考えをさらに深化させてまとめている。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 手引きや教師の助言を手がかりにして，書く観点を明らかにすることができるようにする。	・発表の資料 ・学習の記録
読む能力	題名にこめられた作者の思いについて自分の考えをもち，友達の考えと比べながら読み深めている。	・「十分に満足できる」状況 一人一人の感じ方や考え方には違いがあることに気付き，題名にこめられた作者の思いについて読み深めている。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 友達の考えや教師の助言を聞いて，題名にこめられた作者の思いについて読み深めることができるようにする。	・音読 ・発言 ・話し合いの様子 ・学習の記録

５　学習計画（全１６時間）

学習活動と指導（★）	学習者の意識の流れ	身に付けさせたい力
1　学習計画を立てる。 （２時間） ★日常の読書活動により戦争への関心を高めておく。	戦後６０年になると言っていたよ。 「ホタルの墓」を見たよ。 社会科でも昔のくらしが出てきたね。 ↓ 戦争のことについてもっと知りたいな。 ↓ 『ちいちゃんのかげおくり』を習ったね。 戦争の話が教科書にものっていたよ。 テレビや新聞にたくさんのっていたよ。	
2　『一つの花』を読んで，主題について読み深める。 （６時間） ★手引きを手がかりとして，作者の思いについて読み深めることができるようにする。	『一つの花』を読んでみよう。 ↓ 戦争ってひどいな。命って大切だな。 家族が離ればなれはつらいな。 ゆみ子はたくましく明るく生きているんだな。 ↓ 『一つの花』のメッセージを伝えたいな。 ↓ おじいちゃん，おばあちゃんからお話を聞こう。 ほかのお話も読んでみたいな。 いろいろな本を調べてみよう。	[読]場面の情景を豊かに想像する。 （発言） [読]登場人物の心情をとらえる。 （発言 ・学習の手引き） [読]題名にこめられた作者の思いについて読み深める。 (学習の記録)
3　読み取った内容について自分なりの表現方法を考え，話し合う。 （６時間　本時５／６） ★学習者の関心をもとにグループを作り，意見を交換し合うことにより自分の考えを深めることができるようにする。	考えや思いをみんなに伝えよう。 ↓ 聞き取りをもとに考えたことを伝えるよ。 家族愛について伝えるよ。 戦争中の暮らしについて話すよ。 ↓ グループでまとめたことを発表し合おう。 ↓ 友達の意見を取り入れよう。 あんな考え方もあるんだな。	[読]読み取った内容について，自分の感想や考えをもつ。 （発言 ・学習の手引き） [書]相手や目的に応じて書く事柄を選ぶ。（学習の記録） [読]友達の感想や意見にふれ，自分との共通点・相違点に気付く。 （学習の手引き）
4　意見の交流を通して，学習のまとめをする。 （２時間）	他のグループのメッセージも聞きたいな。 人権集会でみんなに伝えたいな。	[話・聞]伝えたい相手と伝えたい事柄を意識して話す。 (発言・発表の資料)

６　本時の学習

（１）本時の目標

①学習者の活動目標

「一つの花」のメッセージを伝える表現を工夫しよう。

②指導目標

グループ内で意見交換をすることにより，よさや改善点に気付かせ，表現の工夫をすることができるようにする。

（２）展開

学習活動	指導上の留意点	身に付けさせたい力	評価の資料
1　前時の活動を振り返り，本時の学習のめあてをつかむ。	○伝えたいことの観点を明らかにし，活動への意欲を高める。		
2　各グループで，メッセージを伝える表現を工夫をする。	○グループで発表し合い，自分の考えを確かめることができるようにする。	○読み取った内容について，自分の感想や考えをもつ。	・発言の内容
3　グループ内で改善点について話し合い，よりよい伝え方に気付くことができる。	○意見を交換し合い，よさや改善点に気付くようにする。	○友達の感想や意見にふれ，自分との共通点・相違点に気付く。	・話し合いの様子 ・手引き
4　学習のまとめをし，次時の学習に意欲をもつ。	○「ふりかえりカード」により学習を振り返り，次時のめあてをもつことができるようにする。		・学習の記録

（３）本時の評価

「十分満足できる」状況	一人一人の感じ方や考え方には違いがあることに気付き，題名にこめられた作者の思いについて読み深めている。
「おおむね満足できる」状況にするための指導	友達の感想や教師の助言を聞いて，題名にこめられた作者の思いについて読み深めることができるようにする。